

【4】環境マネジメント

領域	項目	2016年度までの目標・取り組み	2016年度			
			目標	年度実績	評価	
A クリーンな商品	交通環境に関する研究	◆ 安全・安心かつ快適な車社会を実現するために、高度道路交通システム(ITS)への取組み、事故を未然に防止する技術開発を更に前進させる	◇ 先進安全自動車 (ASV) 開発への取り組みを推進 ◇ インフラ協調安全運転支援システム開発への取り組みを推進	・ SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) 自動走行システムの推進計画に沿った活動、車車間通信による事故防止支援の実用化に向けた開発を継続的に推進する。 先進運転支援システムの拡充、自動運転の早期実用化に向けた開発を継続的に推進する。	・ SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) 自動走行システムの推進計画に沿った活動、車車間通信による事故防止支援の実用化に向けた開発を継続的に推進した。 先進運転支援システムの拡充、高度運転支援システムの早期実用化に向けた開発を継続的に推進した。	○
		◆ 先進運転支援システムの展開拡大、並びに更なる高度化に向けた技術開発の推進	◇ 先進運転支援システム「EyeSight (ver.2)」の展開拡大に向けた技術開発を更に推進	・ 各国のアセスメント動向を継続的に先取り、トップクラス性能を堅持する技術開発を継続的に推進する。	・ 各車種でのEyeSight ver.3の展開計画に沿って、各国アセスメントへの適合開発を継続推進した。 2020年以降の各地域のアセスメント動向を先取り、開発計画へ落とし込んだ。	○
	ライフサイクルアセスメントの推進	◆ ライフサイクルアセスメント(LCA)データの公開を推進	◇ フルモデルチェンジ車からLCAデータの公開を推進	・ 引き続きフルモデルチェンジ車のLCAを算定・公開する。	・ 新型インプレッサのLCA算定及び公開した。	○
C 管理面の拡充	グリーン調達活動	◆ 国内・海外お取引先様に対し、環境マネジメントシステムの構築体制維持を要請	◇ 新規お取引先様を含めて構築体制を維持継続 ◇ グリーン調達ガイドラインの見直しと、必要に応じた改定を実施	・ EMS構築体制を維持継続する。 [自動車]新規お取引先様を含め構築体制を維持継続する。 [航空CP]新規お取引先様を含め構築体制を維持継続する。 [産機CP]新規お取引先様を含め構築体制を維持継続する。 お取引先様への周知活動を継続する。	・ EMS構築体制を維持継続した。 [自動車]新規お取引先様8社を含め377社構築した。(100%) [航空CP]新規お取引先様12社を含め98社構築した。(100%) [産機本部]既存お取引先様122社構築した。(100%) グリーン調達ガイドラインを新規お取引先様に展開し周知した。	○
		◆ 環境負荷物質の削減	◇ お取引先様における、部品・原材料などに含まれる環境負荷物質の管理拡充と削減を推進	・ 環境負荷物質の含有調査を継続する。 [自動車]IMDSの調査を継続実施する。 [航空CP]お取引先様での環境負荷物質の使用調査を継続する。 [産機CP]JAMAシートの調査を継続実施する。 ・ 代替材への切替による環境負荷物質を削減する。 [自動車]REACH規制塩ビ可塑剤3物質の切替を進める。 [航空CP]環境負荷物質削減に向けた代替材を継続検討する。 [産機CP]RoHS指令対応に向け代替材への切替を進める。	・ 環境負荷物質の含有調査を継続した。 [自動車]調査を継続実施した。 [航空CP]お取引先様での環境負荷物質の使用状況を調査した。 [産機本部]調査を継続した。 ・ 代替材への切替による環境負荷物質を削減した。 [自動車]REACH規制WVfエタノール化切替への検討を進めた。 [航空CP]環境負荷物質削減に向けた代替材を検討した。 [産機本部]RoHS指令対応を完了した。	○
		◆ サプライヤーCSRガイドラインを設定し、お取引先様に展開 [航空宇宙・産業機器部門]自動車部門は設定・展開済み	◇ ガイドラインを設定し、お取引先様を対象に展開、周知を推進	・ ガイドラインに基づくCSR調達活動を推進する。 [自動車]お取引先様への周知活動を継続する。 [航空CP]お取引先様への周知活動を継続する。 [産機CP]お取引先様への周知活動を継続する。	・ ガイドラインに基づくCSR調達活動を推進した。 [自動車]重点お取引先様と運用実態を個別に確認した。 [航空CP]各調達部会でガイドライン改定版の周知をした。 [産機本部]生産計画説明会、個別面談時に生産終了までガイドラインに沿った対応を要請した。	○
	販売店における環境保全活動の推進 [クリーンな販売店]	◆ 販売特約店の環境への取組み活動に対する支援を行う	◇ エコアクション21 <sup>※</sup> の全販売特約店認証維持を支援	・ 全特約店におけるEA21の中間審査、更新審査の進捗状況を逐次確認、認証継続を支援する。	・ 更新審査の対象特約店に対して、更新審査のスケジュール、取組状況、結果などのヒアリングを実施。また、認証登録証の写しの提出を受けることにより、全特約店がEA21の継続を確認した。	○
			◇ エコアクション21を活用した省エネ、廃棄物削減など自主的な環境取り組み継続を支援	・ D-SPECSシステムの継続活用、定量管理の定着化を支援し、特約店における削減活動をサポートする。	・ D-SPECSの活用支援を継続。また、フロン排出抑制法のシステム対応は、2017年度中の導入を目標に進捗を図る。	○
	地域社会と連携した、生物多様性保全を含む環境保全活動の推進	◆ 環境イベントへの参画、工場近隣にお住まいの方との交流、工場見学への対応を継続 ◆ 生物多様性保全を含めた各工場周辺地域の清掃活動や緑化活動を継続的に実施 ◆ 環境団体などの活動に、支援・協力を行なう	◇ 工場見学受け入れ、敷地開放イベントの開催、環境交流授業を継続的に実施	・ 環境出前教室を継続して実施する。 ・ 群馬ビジターセンターの見学者受け入れを継続する。	・ 社会貢献活動の一環として次を実施した。 宇都宮・半田の小中学校への環境出前教育実施学校数：33校 (宇都宮21校、半田12校) 受講者数：1,933人 (宇都宮1,254人、半田679人) 群馬ビジターセンターでは1,507団体、88,989人の見学者を受け入れた。 ・ 本社・各事業所周辺地域の清掃活動を継続した。 ・ 生物多様性に配慮した緑地ガイドラインについて、説明会を実施した。	○
			◇ 各工場・事業所周辺地域の清掃活動を継続的に実施	・ 各事業所周辺地域の清掃活動を継続して実施する。		
			◇ 生物多様性保全に配慮した緑化活動を推進	・ 生物多様性取り組みロードマップを進捗し、取り組みを進める。		
	環境関連情報の公開	◆ 環境報告の継続的発行、広報資料などによる環境情報の適時公開を図る ◆ 環境報告書記載内容の改善・充実を図る (環境報告ガイドラインへの準拠対応、グループ企業も含めた報告) ◆ 環境展等に参画し、当社の環境取り組みをアピール	◇ 環境報告をCSRレポートにて実施 WEBホームページでは、最新情報を提供	・ 2016環境WEBサイトを作成し、掲載する。	・ 次年度レポートにおける内容充実に向けた準備を進めた。	○
			◇ 環境報告内容の環境省環境報告ガイドライン準拠率向上と、報告内容の向上を目指す	・ 報告内容の充実を推進する。	・ 第三者意見の掲載およびそれに対して当社としての対応準備を進めた。	○
◇ エコプロダクツ展に継続参加し、当社の環境対応製品、取り組みを広くアピール			・ エコプロ2016展に出展し、当社の環境対応製品と、取り組みを広くアピールする	・ エコプロ2016展 (12/8~10)に出展した。	○	
環境教育や啓発活動の推進	◆ 社内教育システムに組み入れた環境・社会教育を継続実施 ◆ 社内報や各種媒体による啓発活動を継続 ◆ 講演会、職場における改善事例発表会などを継続実施	◇ 環境に関する教育・啓発・発表会などの実施を更に推進。	・ 様々な機会を捉え、積極的に環境教育や啓発活動を実施する。	・ バリ協定・温室効果ガスに関する部長級研修会を開催した。 ・ 新入社員向け環境教育テキストを更新した。 ・ 環境カードを2017年4月より刷新する準備をした。 ・ 環境方針改定に伴い環境取り組みの必要性を経営層に啓発した。	○	
		◆ 当社全拠点ISO14001統合認証を継続維持	◇ 内部監査や環境教育など仕組みの共有化を進め、より合理的なEMS活動を目指す	・ ISO14001:2015改訂版への移行を完了させる。	・ 11~12月にISO14001サーバランス審査を受審し、認証を継続した。 ・ 関連3社を統合し、ISO14001:2015改訂版マニュアルを完成し、移行に向けた準備を進めた。	○
		◆ 環境マネジメントシステムの継続的改善を推進	◇ 関連企業を含めたISO14001統合認証化を推進し、更なるレベルアップを目指す	・ 富士機械、桐生工業、SLC0とEMS統合作業を推進。 関連企業、サプライヤーにISO14001又はEA21を推奨する (EA21はFHIが支援)。	・ 富士機械、桐生工業、SLC0とのISO14001:2015統合認証の体制を確立。 2017年4月より新規格での環境活動を開始する準備をした。	○

※エコアクション21：環境省がISO14001をベースに策定した環境マネジメントシステムで、中小事業者が取り組みやすいように工夫されている。